




TAMRON

産業の眼を創造貢献するタムロン

2005年12月期 中間決算説明会

2005年8月10日(水)

株式会社タムロン (証券コード: 7740)



CONTENTS

・中間決算概要及び通期の見通し

1. 事業概要	P.4
2. 2005年度中間期業績	P.5
3. セグメント別中間期業績	P.6
4. 財政状況	P.7
5. キャッシュ・フロー計算書	P.8
6. 有利子負債及び棚卸資産	P.9
7. 2005年度通期見通し	P.10
8. セグメント別通期見通し	P.11
9. 設備・研究費通期見通し	P.12
10. 配当金の見通し	P.13

・中期戦略

1. 中期経営スローガン	P.15
2. 中期目標	P.15
3. 中期業績予想	P.16
4. セグメント別中期計画	
写真関連事業	P.17
レンズ関連事業	P.18
特機その他	P.19
5. 中期課題	P.20



中間決算概要及び通期の見通し



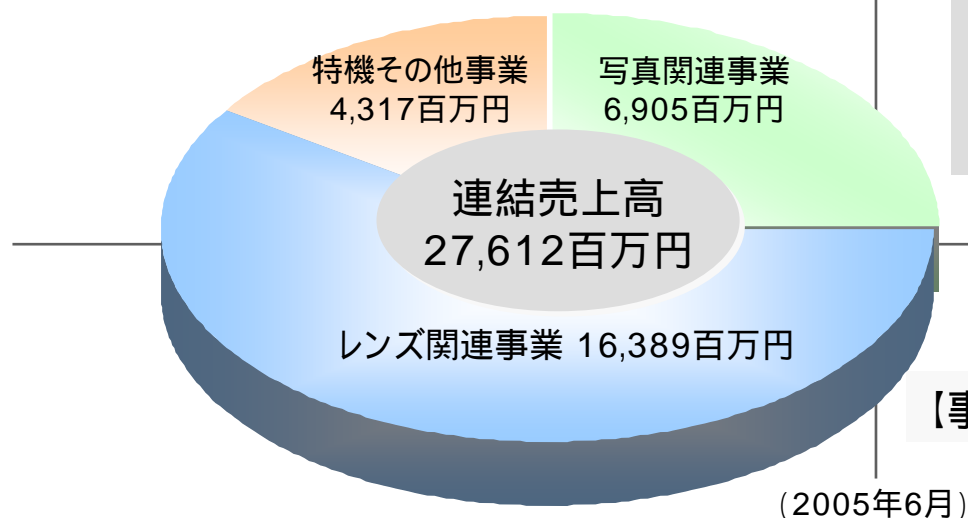
1. 事業概要

【会社情報】

- ❖ グループ会社(連結子会社) : 5社
- ❖ 国内事業所数 : 4 / 営業拠点 : 5
- ❖ ISO9001、ISO14001に基づくグループ開発、生産体制
- ❖ 連結売上高 : 27,612百万円 (05年6月)
- ❖ 連結従業員数 : 3,525人 (05年6月末)
- ❖ 総資産 : 41,985百万円 (05年6月)

【事業内容】

- ❖ 写真関連事業
一眼レフカメラ用交換レンズ 中判カメラ
- ❖ レンズ関連事業
ビデオカメラ用レンズ
デジタルカメラ用レンズ
携帯電話用レンズユニット
- ❖ 特機その他事業
CCTVカメラ用レンズユニット
プロジェクター用レンズユニット 精密金型
精密プラスチック成形品 原器
各種光学用デバイス部品等



【事業セグメント別売上高】

(2005年6月)

2. 2005年度中間期業績

(単位:百万円)

	前中間期	当初 予想値	当中間期	増 減 (対前中間期)		増 減 (対当初予想値)	
				額	率	額	率
売上高	30,732	27,500	27,612	3,120	89.8%	112	100.4%
経常利益	3,415	1,900	2,336	1,079	68.4%	436	122.9%
売上高 経常利益率	11.1%	6.9%	8.5%	2.6		1.6	
中間純利益	2,226	1,200	1,643	583	73.8%	443	136.9%
1株当たり 中間純利益 (円)	167.25	85.1	116.54	50.71	69.7%	31.44	136.9%

3. セグメント別中間期業績

(単位:百万円)

		前中間期	当初 予想値	当中間期	増 減 (対前中間期)		増 減 (対当初予想値)	
					額	率	額	率
写真関連 事業	売上高	4,698	5,683	6,905	2,207	147.0%	1,222	121.5%
	営業利益	141	233	828	687	587.2%	595	355.4%
デジタル一眼レフカメラ用交換レンズ市場の拡大による売上、利益の増加								
レンズ関連 事業	売上高	21,686	17,129	16,389	5,297	75.6%	740	95.7%
	営業利益	3,746	2,026	2,514	1,232	67.1%	488	124.1%
販売数量は減少。但し、原価低減等による利益改善								
特機その他 事業	売上高	4,347	4,688	4,317	30	99.3%	371	92.1%
	営業利益	219	197	100	119	45.7%	97	50.8%
プロジェクター事業の価格下落と研究開発費等の増加								

4. 財政状況

(単位:百万円)

	2004/6	2004/12	2005/6	増減額 (対前年同期末比)	備 考
現金・預金	10,322	11,144	9,343	1,801	設備投資資金充当による減少
受取手形・売掛金	10,379	7,857	9,209	1,352	売掛金による増加
棚卸資産	10,054	8,593	9,160	567	中国工場におけるデジカメ・プロジェクターの仕掛在庫の増加
その他流動資産	1,367	1,558	1,136	422	繰延税金資産等の減少
有形固定資産	8,465	9,681	10,886	1,205	金型加工設備及び機械等による増加
無形固定資産	193	863	1,033	170	ソフトウェアの増加
投資その他の資産	1,105	1,158	1,215	57	
資産合計	41,887	40,857	41,985	1,128	
流動負債	13,706	11,825	11,803	22	
固定負債	5,174	4,140	3,776	364	長期借入金返済による減少
負債合計	18,880	15,965	15,580	385	
資本合計	23,007	24,891	26,404	1,513	利益剰余金の増加
負債・資本合計	41,887	40,857	41,985	1,128	

5. キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2004/6	2004/12	2005/6	備 考
営業活動	566	5,257	1,375	税金等調整前中間純利益の計上と 売上債権の増加による
投資活動	1,979	4,909	2,357	レンズ及びプリズム加工設備、金型新工場等の設備投資による
フリーキャッシュフロー	1,413	347	982	
財務活動	5,720	4,900	923	長期借入金の返済による支出、配当金の支出による
現金及び 現金同等物の残高	10,322	11,144	9,343	前期末に比べて18億1百万円減少

6. 有利子負債及び棚卸資産

(単位:百万円)

有利子負債		2004年6月	2004年12月	2005年6月
	借入金残高	8,705	8,029	7,549
借入金依存度	20.8%	19.7%	18.0%	

(単位:百万円)

棚卸資産		2004年6月	2004年12月	2005年6月
	棚卸資産	10,054	8,593	9,160
回転月数	2.0ヶ月	1.6ヶ月	2.0ヶ月	

7. 2005年度通期見通し

(本見通しにおいては、為替レート1米ドル = 108円、1ユーロ = 136円を前提としております。)

(単位: 百万円)

	前年 期末期	当初 通期予想	修正 通期予想	増減 (対前年期末)		増減 (対当初予想値)	
				額	率	額	率
売上高	63,345	70,000	58,000	5,345	91.6%	12,000	82.9%
売上総利益	15,597	16,270	14,400	1,197	92.3%	1,870	88.5%
売上 総利益率	24.6%	23.2%	24.8%	0.2%		1.6%	
販売管理費	8,374	8,970	10,000	1,626	119.4%	1,030	111.5%
営業利益	7,223	7,300	4,400	2,823	60.9%	2,900	60.3%
経常利益	6,589	7,000	3,600	2,989	54.6%	3,400	51.4%
当期利益	4,474	4,800	2,800	1,674	62.6%	2,000	58.3%

8. セグメント別通期見通し

(単位:百万円)

		前年 期末期	当初予想	通期予想	増 減 (対前年期末)		増 減 (対当初予想値)	
					額	率	額	率
写真関連 事業	売 上 高	10,765	12,514	14,651	3,886	136.1%	2,137	117.1%
	営 業 利 益	492	1,064	1,842	1,350	374.4%	778	173.1%
	営 業 利 益 率	4.6%	8.5%	12.6%	8.0%		4.1%	
デジタル一眼レフカメラ用交換レンズの増加による利益率の向上								
レンズ関連 事業	売 上 高	43,980	44,484	32,579	11,401	74.1%	11,905	73.2%
	営 業 利 益	7,363	6,581	4,205	3,158	57.1%	2,376	63.9%
	営 業 利 益 率	16.7%	14.8%	12.9%	3.8%		1.9%	
コンパクトデジカメのコスト競争激化による利益率の低下								
特機 その他	売 上 高	8,600	13,002	10,770	2,170	125.2%	2,232	82.8%
	営 業 利 益	620	1,162	262	358	42.3%	900	22.5%
	営 業 利 益 率	7.2%	8.9%	2.4%	4.8%		6.5%	
プロジェクター事業の価格下落と研究開発費等の増加								
消去又は全社		1,253	1,540	1,909	656	152.4%	369	124.0%
合 計	売 上 高	63,345	70,000	58,000	5,345	91.6%	12,000	82.9%
	営 業 利 益	7,223	7,300	4,400	2,823	60.9%	2,900	60.3%

9. 設備、研究費通期見通し

(単位:百万円)

	前年 期末期	上期 実績	下期 予想	通期 予想	増 減(対前年比)		内 容
					額	率	
設備投資	5,587	2,147	5,340	7,487	1,900	134.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・新金型工場建設 ・中国工場(仏山)への投資 ・金型加工機械設備 ・カメラ付携帯用自動組立ライン ・情報システム投資
開発研究費	1,865	1,162	1,138	2,300	435	123.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター光学系の技術開発 ・非球面ガラスモールドの技術開発 ・デジタル光学系の製品開発

10. 配当金の見通し

(単位:円)

	2002年	2003年	2004年	2005年 (予想)	2005年 実質配当 (予想)
中間	—	—	15.00	25.00	25.00
期末	12.50	20.00	25.00	20.00	20.00 × 2 (1:2の分割による)
合計	12.50	20.00	40.00	45.00	65.00

注) 株式分割を考慮いたしました期末配当金予想は、前期に比べ25円増配の実質65円となります。



中期戦略

TAMRON
産業の眼を創造貢献するタムロン



1. ブランドメッセージ

産業の眼を創造貢献するタムロン®

2. 中期目標 (2007年)

売上高: 660億円

営業利益: 56億円 (営業利益率 8.5%以上)

3. 中期業績予想

(単位:百万円)

	2005年12月	2006年12月	2007年12月
売上高	58,000	61,000	66,000
営業利益	4,400	4,900	5,600
営業利益率	7.6%	8.0%	8.5%
経常利益	3,600	4,100	4,600
経常利益率	6.2%	6.7%	7.0%

4. セグメント別中期計画

写真関連事業

2007年
中期目標

売上高 : 15,800百万円

- ❖ 成長するデジタル一眼レフカメラ用レンズへの積極的投資
- ❖ OEM事業の体制強化

タムロンDi IIシリーズ [デジタル専用]

Di II レンズ



デジタル専用
超高倍率ズーム

AF18-200mm
F/3.5-6.3 XR Di II
LD Aspherical [IF] Macro
(Model A14)
28-300mm 相当

SP Di II レンズ



デジタル専用
超広角ズーム

SP AF11-18mm
F/4.5-5.6 Di II
LD Aspherical [IF]
(Model A13)
17-28mm 相当

タムロンDiシリーズ [フィルム/デジタル兼用]

Film & Digital

Di レンズ — フィルムとデジタルで良好な画質

デジタルカメラ用レンズの新標準。
Di (Digitally Integrated Design)
は、デジタル一眼レフカメラの特性に
配慮した光学設計のレンズです。

- 良好な画質 (高度な品質管理)
- 利便性 (便利な高倍率ズーム)
- コストパフォーマンス設計



AF28-300mm
F/3.5-6.3 XR Di II
LD Aspherical [IF] MACRO
(Model A061)

SP Di レンズ — 高設計仕様の高画質

高設計仕様
SP レンズシリーズ



- 高仕様 (高い設計仕様)
 - 高画質設計
(コストに拘られず、スペックと画質を第一優先)
- SP AF17-35mm Di (Model A05)
SP AF28-75mm Di (Model A09)
SP AF90mm Di (Model 272E)
SP AF180mm Di (Model B01)
SP AF200-500mm Di (Model A08)

4. セグメント別中期計画

レンズ関連事業

売上高: 39,600百万円

2007年
中期目標

- ❖ DSC、DVC市場は、コスト競争力の強化を一層進め、売上、利益の確保を図る。
- ❖ 魅力あるサプライヤーとして新技術による革新を進め、受選力を強化し、付加価値を高める。



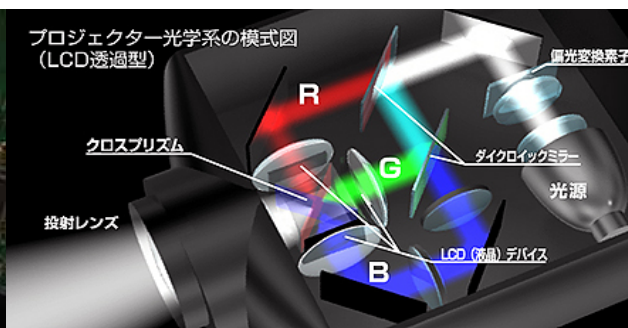
4. セグメント別中期計画

特機その他事業

売上高:10,600百万円

2007年
中期目標

- ❖ CCTV事業は、海外での体制を強化し、売上、利益の確保を図る
- ❖ 虹彩 / 自動車関連 / ロボット等の産業の眼の受注拡大
- ❖ プロジェクター光学デバイス事業は、早期に採算事業として再構築すべく、技術基盤を確立し、伸長を図る。



5. 中期の課題

1. 「産業の眼を創造貢献するタムロン」として各事業とも魅力的な新製品を積極的に市場投入する
2. デジタル一眼レフ用交換レンズ市場に魅力ある新製品を投入する
3. カメラ付携帯事業とプロジェクター光学デバイス事業の拡充
4. 新金型工場を基幹とした新製品の開発力の迅速化
5. 光学技術を中心とした要素技術開発と知的財産戦略の強化推進
6. 海外生産並びに海外調達、さらに国内工場の原価低減活動の一層の推進
7. グループ管理体制強化による収益力強化とコンプライアンス体制の確立
8. グローバル情報システムの構築による全社業務改革と在庫圧縮の推進
9. キャッシュ・フロー経営の推進と連結バランスシートの改善
10. ISOを中心としたグループ企業の環境改善活動推進と品質マネジメントシステムの一層の向上

将来の事象に係る記述に関する注意

1. 本資料は、2005年中間期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本プレゼンテーション資料及び当社代表者が口頭にて提供する情報は、現時点で入手可能な情報をもとに当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいております。
3. 実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性があり得ますことをご承知おき下さい。
4. 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。